

## 令和5年度 決算報告書

国立大学法人 滋賀医科大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,711	5,793	82	(注1)
施設整備費補助金	603	579	△24	(注2)
補助金等収入	219	459	240	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	7	7	-	
自己収入	26,478	27,446	968	
授業料、入学料及び検定料収入	610	616	5	
附属病院収入	25,744	26,525	780	(注4)
雑収入	123	304	181	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,804	2,112	307	(注6)
引当金取崩	407	451	44	(注7)
長期借入金収入	3,539	2,853	△686	(注8)
目的積立金取崩	1,851	1,371	△479	(注9)
計	40,623	41,075	452	
支出				
業務費	33,165	32,502	△663	(注10)
教育研究経費	4,795	6,076	1,281	
診療経費	28,370	26,426	△1,944	
施設整備費	4,150	3,439	△711	(注11)
補助金等	219	439	220	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,804	1,587	△216	(注13)
長期借入金償還金	1,282	1,276	△6	
計	40,623	39,246	△1,376	
収入－支出	-	1,829	1,829	(注14)

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった教育・研究基盤維持経費の追加配分等により、予算金額に比して決算金額が82百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部事業の工程見直しが必要となり翌年度へ繰越になったことから、24百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国及び滋賀県からの新型コロナウイルス感染症関連補助金が交付されたため、予算金額に比して決算金額が240百万円多額となっています。また、授業料等減免費交付金20百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 附属病院収入については、診療単価の増等により、予算金額に比して決算金額が780百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、予算段階で見込んでいた財産貸付料収入等の増収により、予算金額に比して決算金額が181百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階で予定していた産学連携等研究収入等の増収により、予算金額に比して決算金額が307百万円多額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、予算段階で使用を見込んでいた承継職員以外の職員に係る退職手当が見込に対して退職者が多かったこと等により、予算金額に比して決算金額が44百万円多額となっています。
- (注8) 長期借入金収入については、施設整備事業に係る工程見直しによる翌年度繰越によって、予算額より価格が低下したため、686百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階で使用を見込んでいた施設整備事業に係る自己資金による支出が施設整備事業の工程見直しによる翌年度繰越によって、予算金額に比して決算金額が479百万円少額となっています。
- (注10) 業務費については、予算段階で使用を見込んでいた施設整備事業に係る自己資金による支出が見込に対して減となったこと等により、予算金額に比して決算金額が663百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注8)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が711百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が220百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、執行計画の見直し及び受託研究等の繰越の増加等により、予算金額に比して決算金額が216百万円少額となっています。
- (注14) 収入－支出は、翌年度以降に用途の特定された賞与引当金等515百万円、業務達成基準を適用して運営費交付金債務として翌年度への繰越107百万円、退職手当の翌年度繰越額98百万円、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等の執行残額524百万円等を含んでいます。